

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上水道建設課	
1 事業情報			2 安定・快適な水道水の供給		施策	2-1 水道施設の更新	事業	2-1-2 老朽化管路の計画的更新
目指すべき方向性	強靱	基本政策						

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。							
事業目的	強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクタイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画及び老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・管路更新計画に基づき、高級鋳鉄管0.84kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管12.15kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	3,884,578	146,701	3,737,877	3,673,249	135,151	3,538,098	95%
	工事費	3,128,100	11,550	3,116,550	2,940,928	0	2,940,928	94%
	原材料費	0	0	0	0	0	0	
	委託料	157,268	135,151	22,117	153,367	135,151	18,216	98%
	賃借料	0	0	0	0	0	0	
	その他	599,210	0	599,210	578,954	0	578,954	97%
	人件費	34,113			34,113			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	3,061,143千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	79%		
進捗状況	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管0.91kmを更新しています。 ・管路更新計画に基づき、経年管11.58kmを更新しています。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・管路更新計画に基づき、高級鉄管については、0.93kmを更新しました。 ・管路更新計画に基づき、経年管については、11.97kmを更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	【PI B504】管路の更新率	単位	%	目標値	1.04			
算出式・根拠	(更新された管路延長/管路延長) × 100				実績値	0.87		
指標名	【PI B605】管路の耐震管率	単位	%	目標値	30.0			
算出式・根拠	(耐震管延長/管路延長) × 100				実績値	29.9		
指標名	【PI B606】基幹管路の耐震管率	単位	%	目標値	86.8			
算出式・根拠	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長) × 100				実績値	86.3		

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	A
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	A
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
市民などからの意見や苦情に適切に対応し、事業へのフィードバックを行いました。また、改善策として職員全体で業務に関わる知識や情報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を図りました。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・他の事業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。 ・設計変更も含めた工事の竣工が年度末に集中しているため、発注の平準化、適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるよう一層努めます。	現状維持で継続